

# 施策分析シート（平成29年度）

No1

<b>施策名</b>	体験学習等の推進	<b>施策No</b>	04-03	<b>部課名</b>	地域文化スポーツ部文化交流推進課			
				<b>課長名</b>	谷井 内線 2520			
<b>関連部課名</b>	地域文化スポーツ部生涯学習課、子育て支援部児童青少年課、教育委員会事務局学務課・指導室							
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	子育て教育都市						
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成					
<b>目的</b>	自然体験等を通して、子どもたちに「生きる力」や「思いやりの心」、「他者への共感」「自己肯定感」等を育む。また、ものづくり体験や勤労体験を通じて、子どもたちの「創造性」や「自主性」を醸成する。							
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>			
		26年度	27年度	28年度				
	「生きる力」の習得	3.55	3.54	3.42		お父さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？		
	子どもの成長の実感	4.29	4.23	4.20		お父さんが、健やかに成長していると感じますか？		
	規則正しい生活習慣の習得	3.67	3.74	3.62		お父さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか？		
災害時の絆・助け合い	2.64	2.71	2.67	災害時に近所の人と助け合う関係があると感じますか？				
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>		
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		目標値(38年度)	
	自然体験事業参加者数(人)	158	172	210	180		195	チャレンジキャンプ、全国連携キャンプ、まるかじり体験塾の参加者数

（単位：千円）

<b>行政コスト計算書</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>
	給与関係費		51,472		地方税等		0	
	物件費		143,588		国庫支出金		500	
	維持補修費		1,498		都支出金		56	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		11,483		使用料及び手数料		0	
	減価償却費		17,273		その他		13,294	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		13,850	
	賞与・退職給与引当金繰入額		1,538		行政収支差額(a)-(b)=(c)		213,003	
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		226,853		通常収支差額(c)+(d)=(e)		213,003		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		213,003		
<b>貸借対照表</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>	<b>勘定科目</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>差額</b>
	流動資産				流動負債		51,421	
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		0	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		1,381	
	有形固定資産		238,778		その他の流動負債		50,040	
	土地		87,041		固定負債		75,950	
	建物		623,814		特別区債		0	
	建物減価償却累計額		472,077		退職給与引当金		13,400	
	工作物等		4,209		その他の固定負債		62,550	
工作物等減価償却累計額		4,209		負債の部合計		127,371		
無形固定資産		0		正味財産		266,095		
建設仮勘定		0		正味財産の部合計		266,095		
その他の固定資産		154,688		負債及び正味財産の部合計		393,466		
資産の部合計		393,466						

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>荒川区自治総合研究所では平成27年度に「自然体験を通じた子どもの健全育成研究プロジェクト」を立ち上げ、自然体験が子どもたちに与える影響について研究をはじめ、平成28年3月に中間レポートを発表した。</p> <p>この中間レポートでは、自然体験により磨かれた感性は多くの体験の機会を与え、それが間接的に「生きる力」の滋養を促し、結果、現実肯定感が大きく向上すると分析している。</p> <p>区では、幼稚園・保育園で行う身近な自然との触れ合いをはじめ、小中学生のチャレンジキャンプや自然まるかじり体験塾、さらには区民ハイキング等、乳幼児から大人まで、様々な自然体験関連事業を行っている。</p> <p>中学校では、職業観や勤労観を培うキャリア教育を充実させるために、社会生活での責任や勤労の大切さを体験的に学ばせる「勤労留学」を全校で実施している。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして物件費が大きな割合を占めており、下田臨海学園、清里・下田移動教室、自然まるかじり体験塾などの事業経費が9割以上を占めている。</p>
課題	<p>荒川区自治総合研究所の研究結果を踏まえ、子どもたちが多様な経験を積むことができる機会を拡充していくことが求められる。</p> <p>子どもたちが親元を離れて生活する自然体験事業への参加を促すには、保護者が自然に関心を持ち、自然体験事業への意義を理解することが大切である。</p> <p>「勤労留学」等の社会体験活動が、子どもたちの社会生活での責任感を養うとともに、自分の将来を考える機会となるよう、多様な体験の機会を設ける必要がある。</p>
今後の方向性	<p>自然への畏敬の念や子どもたちの「生きる力」を育むため、交流都市との相互交流事業や全国連携事業等、豊かな自然があふれる自治体や、子ども関連団体、NPO等との連携により、これまで以上に自然体験事業の質・量共に充実を図り、自然体験事業の裾野を広げる。</p> <p>親子で参加できる自然体験教室など、保護者の自然体験への関心等が高まる工夫をし、子どもたちが積極的に自然体験の機会を得られるよう環境を整える。</p> <p>身近な地域での多様な体験や、人との交流・活動を通じて子どもたちに他者への共感や思いやりなどの豊かな心を育むとともに、自らの生き方を主体的に考えられるよう、キャリア教育の更なる充実を図っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>子どもたちの健全育成に必要な体験活動を推進するため、自然体験を通じた、体験活動の充実を図り、地域と一体となった子どもたちの健全育成に努める。</p>

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
地域少年育成活動補助	05-02-01	1,335	2,310	継続	推進	継続して補助を行うことにより、子どもたちの健全育成に必要な体験活動を推進する。
少年教室	05-02-02	638	568	推進	推進	子どもに多様な体験をさせる事業であり、優先度が高い。
小中学生と乳幼児との交流	10-02-05	98	86	推進	推進	次代を担っていく小中学生に、子育ての楽しさを感じる機会を作ることは、次世代育成支援策として大変重要であるとともに、地域活動への参加意欲へとつなげる機会となるため、必要である。
自然まるかじり体験塾	10-02-09	159	162	推進	推進	自然体験・共同生活を通し、自立心や思いやりの心を育み、また社会性を学ぶ貴重な場であり、今後も推進していく。
下田臨海学園	13-03-34	183,762	99,342	推進	推進	水泳を中心とした心身の鍛錬は学校では体験できないものであり、優先度は高い。
ふれあい教育の推進	13-04-02	1,482	1,515	継続	継続	地域との連携を一層強化し、地域と一体となった教育の充実を目指す。
体験学習推進事業（学校農園、体験型職業教育の推進）	13-04-03	3,487	3,542	推進	推進	地域と連携し勤労留学を全校実施する。
ようこそ青年海外協力隊	13-04-04	531	649	継続	継続	子どもたちに向け、将来の夢を育む事業として定着を図る。
清里移動教室	13-04-05	43,964	44,705	継続	継続	学校の創意工夫を支援し、さらなる充実を図る。
下田移動教室	13-04-06	45,985	45,788	継続	継続	学校の創意工夫を支援し、さらなる充実を図る。
合計		281,441	198,667			